

# 何があなたの人生を

## 変えるのか!

いま世の中は不景気です。そこで「あなたの会社はどうですか?」と聞いてみます。ある人は「非常に悪いです」と、またある人は「まあまあですわ」とおっしゃる。またある人は「お陰様で」と言う。不景気という同じ状況下にあっても千差万別、意識は皆違います。

我々一人一人の人生は、生まれた時から「運命」というものを背負っておりま。どういう人生を送るかそれぞれ定まっているのです。「人生には運命というものがある。」まずこのことを認識覚悟しなければなりません。

しかし近代的教育の現場では、運命というものを一笑に付してきました。運命などあるはずがない。

ある人が病気になった、交通事故に遭った。ある会社の経営が破綻した、経営が大変伸びた。そういうことは全て偶然。人生

はたくさんの偶然が折り重なって構成されているものであって、運命などはチャンチャラおかしい。近代的教育はそう教えてきました。確かに近代科学では運命の存在は証明できません。

しかし、私は運命というものを理性で肯定する必要があると思っています。つまり「

**人生を構成する要素**として、運命がある事を自覚する。そして運命という縦軸に沿って人生は流れていくわけです。同時に人生にはもう一つの要素が存在し、「**運命**」

という縦軸に対して「**因果応報**」

という横軸で構成されていると仮定してみましよう。善いことをすれば善い結果が生じ、悪いことをすれば悪い結果が生まれる。これが因果応報です。善因悪因の因は、生きている間に自分自身が思ったこと、行ったことです。実は恨み、つらみ、色々なことを考えただけで、それがもう原因をつくつてしまふのです。そして原因は必ず「結果」を生みます。原因が原因のままで終わることはありません。

このことをお釈迦様は「縁によって果が生ずる」と仰っています。

ではどういう結果が生じるか? 思うこと行うこと、つまり思念、行為は業(カルマ)をつくりま。業(カルマ)とは原因のことです。善いことを念じ、善いことをすれば、善い結果が生まれる。悪いことを念じ、悪いことをすれば、悪い結果が生まれる。これが因果応報の法則です。

ところがあの人は善い事をしてきたのに、病気で苦しんでいる。この人は悪いことをしているのに結構幸せに暮らしている、そういう例がいくらでもあります。これには理由があります。便利な社会に生きる現代人は、何でもかんでも結果を急ぎすぎる傾向があります。結果が出るまでには時間がかかります。原因に対して結果がすぐ出ることありますが、多くはなかなか結果が出てこない。しかし人生を長いスパンで見ると、大体辻褄が合ってきます。

また、運命は宿命ではありません。運命は因果応報の法則によって変えられます。

**運命と因果応報**。人生はこのたった2つの法則で出来ています。

それ以外はありません。人生は一定していません。恙無い人生なんてあり得ません。人生とは、誰もが取り直しのできない波瀾万丈な舞台の上に立っているのです。だから人生は苦るく、辛いのです。運命と因果応報の法則によって我々の前に立ち現れる現象、一定しない現象に、私達は、どのように対処していくのか?

善い事に遭おうと、悪い事に遭おうと、どの様な現象に出遭ったとしても、出遭った現象に感謝する事が大切です。

**感謝する心根の人には、幸せと美が与えられるのです。**

副住職 谷川 寛敬